ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザ ガイド

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	指紋認証システム	パスワードの代わりに指紋認証を使用して Windows®にログオンできます
(4)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(5)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
*この表では初期設定の状態について説明しています。 タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]**の順に選択します。		

タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指をスライドさせます。 タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。 タッチパッド垂直スクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記：　ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。

2 キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）またはどれかのファンクション キー（3）の組み合わせです。

f3、f4 および f8 ～ f10 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。 ホットキーの機能および操作については以下の項目で説明します。

注記：　お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn + esc
スタンバイを起動する	fn + f3
画面を切り替える	fn + f4
バッテリ情報を表示する	fn + f8
画面の輝度を下げる	fn + f9
画面の輝度を上げる	fn + f10

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、以下のどちらかの手順で操作します。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn ＋ esc）

fn ＋ esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn ＋ esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スタンバイを起動する（fn ＋ f3）

fn ＋ f3 ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。

スタンバイが起動すると、情報がランダム アクセス メモリ（RAM）に保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。

△ 注意： データの損失を防ぐため、スタンバイを起動する前に必ずデータを保存してください。

スタンバイを起動する前に、コンピュータの電源がオンになっている必要があります。

注記： コンピュータがスタンバイ状態のときに完全なローバッテリ状態になった場合は、ハイバネーションが起動し、メモリに保存された情報がハードドライブに保存されます。完全なローバッテリ状態になった場合、工場出荷時設定ではハイバネーションが起動しますが、この設定は電源の詳細設定で変更できます。

スタンバイ状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更できます。たとえば、fn ＋ f3 ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn ＋ f3 ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 ホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- S ビデオ（S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

注記： コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

バッテリ充電情報を表示する（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリと、各バッテリの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

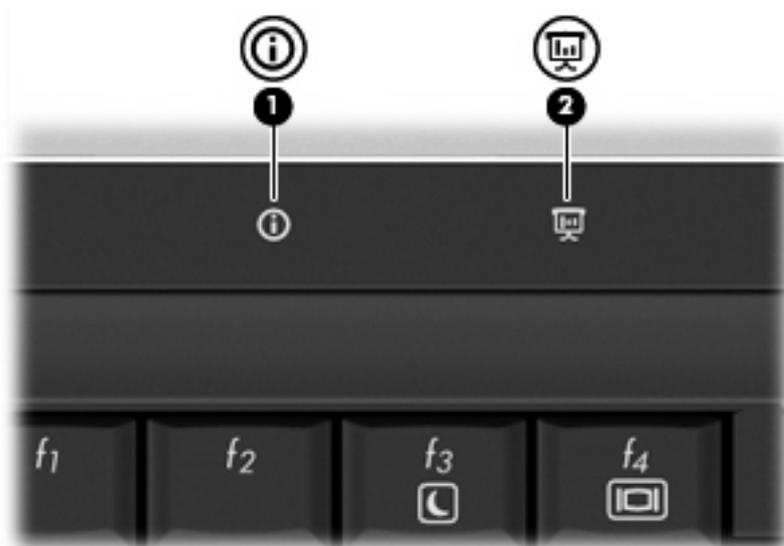
fn ＋ f9 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

3 [HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の使用（一部のモデルのみ）

[HP Quick Launch Buttons]を使用すると、頻繁に使用するプログラム、ファイルまたは Web サイトをすばやく開くことができます。 以下の表に記載する初期設定を使用できます。 または、[HP Quick Launch Buttons]の[設定]で[Q Menu]（Q メニュー）を開き、ボタンを再設定することもできます。

[HP Quick Launch Buttons]には、インフォ ボタン（**1**）とプレゼンテーション ボタン（**2**）が含まれます。

以下の表に、[HP Quick Launch Buttons]の初期設定を示します。

注記： ボタンの機能は、コンピュータにインストールされているソフトウェアによって異なります。

	名称	説明
（1）	インフォ ボタン	[Info Center]を起動します。[Info Center]には、以下のショートカットが含まれます ● **[HP 3D DriveGuard]**：コンピュータを落下させたり移動させたりした場合に、ハードドライブを停止することによってそのドライブを保護するソフトウェアの設定を制御します ● **[HP Software Setup]**：プリロード済みアプリケーションをインストールし、ユーザが利用できるようにします ● **[HP Wireless Assistant]**：無線デバイスのオンとオフを切り替えます 注記： 無線デバイスが[Computer Setup]で無効になっている場合、[HP Wireless Assistant]を使用してそのデバイスのオンとオフを切り替えるには、[Computer Setup]で有効に設定しなおしておく必要があります。 ● **[システム情報]**：お使いのコンピュータ システムのメモリ、プロセッサ速度、BIOS（基本入出力システム）に関する情報やその他の基本情報を表示します 注記： **[詳細設定]**ボタンをクリックすると、システムのさらに詳しい情報が表示されます ● **ユーザ ガイド**：コンポーネント、電源、ドライブ、マルチメディア、セキュリティ、無線機能など、お使いのコンピュータに関する特定の詳細情報が含まれます 注記： [HP QuickLook 2]を設定すると、コンピュータの電源が切れている時、またはハイバネーション状態の時にコンピュータのインフォ ボタンを押してこれらの情報を表示できます
（2）	プレゼンテーション ボタン	[Presentation Options]（プレゼンテーション オプション）ウィンドウが開きます。このウィンドウを使用すると、頻繁に使用するプレゼンテーション、ファイル、プログラムまたは Web サイトを開始できます。 また、表示を最適な設定に調整することができます

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の[設定]へのアクセス

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]にある[Q Menu]（Q メニュー）を使用すると、インフォ ボタンおよびプレゼンテーション ボタンの設定をカスタマイズできます。 どちらのボタンも頻繁に使用するプログラムを起動するときに使用できます。

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面は、以下の方法のどれかで開くことができます。

- **[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。

  または

- タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンをダブルクリックします。

  注記： 宇宙船に似た外観のアイコンです。

  または

- 通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、以下のタスクのどれかを選択します。
  - [HP Quick Launch Buttons]のプロパティの調整
  - [Q Menu]の起動
  - プレゼンテーションをオンにする

[Q Menu]（Q メニュー）の表示

[Q Menu]を使用すると、[HP Quick Launch Buttons]の[設定]に簡単にアクセスできます。

デスクトップで[Q Menu]を表示するには、以下の操作を行います。

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**（HP クイック ローンチ ボタン）アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

注記： [Q Menu]について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

4 [HP QuickLook 2]の使用（一部のモデルのみ）

[HP QuickLook 2]を使用すると、オペレーティング システムを起動しなくても、[Microsoft®Outlook]の電子メール、予定表、連絡先、および仕事の情報を表示できます。 [HP QuickLook 2]を設定すると、コンピュータの電源が切れている時、またはハイバネーション状態の時にインフォ ボタンを押すことによって重要な情報に簡単にアクセスできます。

[HP QuickLook 2]の設定

[HP QuickLook 2]を設定するには、以下の手順で操作します。

1. [Microsoft Outlook]を開きます。 [Microsoft Outlook]のツールバーに[HP QuickLook 2]の 2 つのアイコンが表示されます。

   [QuickLook 2 Preferences]（QuickLook 2 の設定）アイコンでは、自動データ収集の設定を行えます。

   [QuickLook Capture]（QuickLook への取り込み）アイコンでは、自動取得に加え、[HP QuickLook 2]の情報取り込みを手動で開始できます。

注記： 大半のタスクでは、[QuickLook 2 Preferences]アイコンを使用します。

2. [Microsoft Outlook]ツールバーにある**[QuickLook 2 Preferences]**アイコンをクリックします。[QuickLook 2 Preferences]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 以下の設定を行います。
   - [HP QuickLook 2]で[Microsoft Outlook]から情報を取り込み、ハードドライブに保存する時点
   - 予定表、連絡先、電子メール、タスクで表示するデータの種類

4. 必要に応じて、[Security]（セキュリティ設定）を選択し、個人識別番号（PIN）を設定します。

手動での情報収集の使用

事前に設定された間隔で情報収集を行うように[HP QuickLook 2]を設定済みであっても、[Microsoft Outlook]のアカウントにログインしている間は、いつでも[Microsoft Outlook]の情報を手動で収集し、保存することができます。

[HP QuickLook 2]の使用

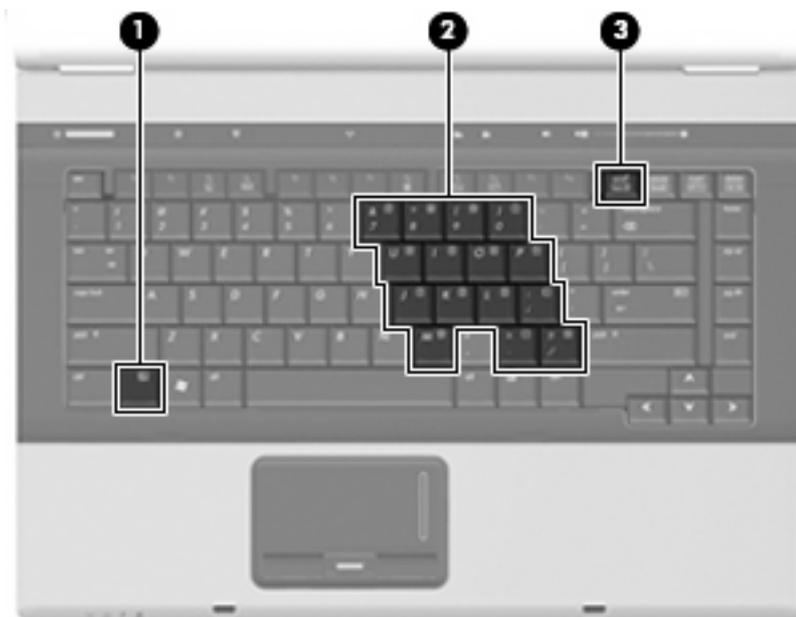
インフォ ボタンの機能は、[HP QuickLook 2]を設定済みであるかどうかによって異なります。 [HP QuickLook 2]の設定前にインフォ ボタンを押すと、コンピュータの電源がオン、オフ、スタンバイ状態またはハイバネーション状態であるかどうかにかかわらず、[Info Center]が起動します。 [HP QuickLook 2]の設定後にインフォ ボタンを押すと、コンピュータの電源の状態に応じて、[Info Center]か[HP QuickLook 2]のどちらかが起動します。

電源の状態	インフォ ボタンの動作
オフ	[HP QuickLook 2]が起動します
ハイバネーション	[HP QuickLook 2]が起動します
オン	[Info Center]が起動します
スタンバイ	コンピュータを元の状態に戻します

詳細情報

[HP QuickLook 2]のセットアップと使用方法について詳しくは、[HP QuickLook 2]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

5　テンキーの使用

お使いのコンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称	説明
(1)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
(2)	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます（上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです）
(3)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードやテンキーがコンピュータに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、num lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、num lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- num lock がオンのときは、数字を入力できます。
- num lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで num lock をオンにすると、コンピュータの num lock ランプが点灯します。外付けテンキーで num lock をオフにすると、コンピュータの num lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの num lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

6 タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引